

第 5 回那覇空港調査 P I 評価委員会議事概要

(1) 報告書の内容、表現方法について

- ・ 10 頁 (環境現況)
公共事業では貴重種が特に問題となるため、どのような貴重種が確認されているのか等の情報は示すべきではないか。
- ・ 27 頁 (評価方法)
評価方法の表現が統一されていない。
地上走行距離の評価方法の表現については、少し工夫する必要がある。倍数での表し方ではなく、時間等で示す方が良いのではないか。
- ・ 29 頁、39 頁
ほとんど文字だけの頁については、図解を入れるなどして、少し、読みやすいように工夫してほしい。
- ・ 32 頁 (自衛隊機の発着回数)
84 回の吹き出しについては、自衛隊機等という文言を追加し、吹き出しの向きを自衛隊機に向けること。
自衛隊機の発着回数が将来どうなるのか、どういう考えで回数を決定したのか明記すべきではないか。
- ・ 33 頁 (経済効果)
試算した額がどの程度の規模なのかわかるように、現在の沖縄の観光収入等の額を示すべきではないか。
- ・ 39 頁 (今後の那覇空港のあり方)
すでに決まったことと捉えられてしまうので、「これからの那覇空港についてあなたの声を下さい」ということを前面に出して、それに関連した情報として、物流拠点等のことを整理した方が良いのではないか。
- ・ 概要版と報告書の章番号が異なるため、概要版の章の色を変えるなど、違いが分かるようにすべきではないか。

(2) アンケートについて

- ・ 前回は上回るアンケートを収集できるよう努めてほしい。
- ・ アンケートの設問は、「検討したこと」が理解できたかという聞き方ではなく、「検討した結果」が理解できたかという聞き方にすべき。